



西川小学校だより

第14号
R6.12.15
校長 林 敏幸

みんなで「なかよし集会」 ～学校公開日～

11月29日(金)、学校公開日に合わせ、保護者や地域の方をまじえた「なかよし集会」(縦割り班集会)を行いました。参加された大人の方にはくじを引いてもらい、その番号の縦割り班に入ってくださいました。この日のゲームは「じゃんけん列車」「震源地クイズ」「ジェスチャーゲーム」の3種類です。まずはじゃんけん列車でウォーミングアップ。はじめは静かにじゃんけんが進みましたが、汽車が長くなるにつれて徐々に盛り上がっていきました。最後のジェスチャーゲームでは珍回答もとび出し、大きな笑いに包まれた班もありました。

いつもの参観日ではお家の方から見ていただく機会が多い子どもたちですが、今日は一緒に活動することができ、笑顔いっぱいでした。参加してくださった皆様、ありがとうございました。



なかよし集会の後は、給食や昼休みの参観、掃除のお手伝いなどをさせていただきました。今年度は保護者の方が中心に参加してくださいました。次の機会にはぜひ、家族に小学生がいない方も気軽に参加して、小学生となかよくなっていきたいと思います。参加をお待ちしております。

一文字一文字心を込めて ～6年生木工教室～

12月4日(水)、「やまぢから」さんのご協力のもと、6年生が木工教室を行いました。今回は総合的な学習とのつながりで、「木製パネル」づくりに挑戦です。四角い板に書いた文字を彫刻刀でゆっくり削っていきます。しかし、西山杉の木は予想したより硬く、子どもたちは悪戦苦闘。時折、やまぢからのみなさんからお手本を見せていただくと、子どもたちは刃先をじっと見つめ、まねして挑戦していました。最後に彫り終えたパネルを組み合わせると、一つの「詩」ができあがりました。丸山薫さんの「ゆきがつもる」です。完成した木製パネルは、今後、丸山薫記念館付近に設置予定です。



地域のために ～なかよし委員会によるアルミ缶回収～



なかよし委員会の子どもたちが中心となって、アルミ缶の回収を行いました。毎朝昇降口に立ち、届いたアルミ缶を袋から取り出してコンテナに移します。中にはつぶされていない缶もあり、見つけるとすぐに足で踏み小さくしていきました。保護者の方が大量の缶を届けてくださったときは、みんな大忙し。素早く仕分けし、ペースを上げて作業をしました。この取り組みはJRC活動の一環で、アルミ缶は中学校の回収分とあわせて換金し、地域貢献に役立てていく予定です。ご協力ありがとうございました。

笑顔広がる「ミニお話会」 ～図書委員会～

12月5日(木)、昼休みの時間に、図書委員会の子どもたちが「ミニお話会」を開きました。子どもたちは読書月間の取り組みの一つとして、休み時間などを利用して準備を進めてきました。お話会のメインは読み語りです。昼休みになると、下学年を中心に次々とお客さんが訪れ、あっという間に満員となりました。図書委員はいささか緊張した様子でしたが、練習の成果を発揮し、楽しく読み語りを進めていきました。楽しそうな笑顔が自然に広がり、部屋の中は温かな雰囲気になっていきました。



子どもは風の子、雪の子 ～待ちに待った雪遊び～



12月に入った週末に寒気が入り込み、西川町では今シーズン初めてまとまった積雪となりました。町内の大井沢では積雪が50cmにも達したとのこと。学校周辺でも15cmほどの雪が降り、一気に銀世界へと様変わりました。雪が降って大喜びするのは子どもたち。中間休みには、一斉に校庭へと駆け出していきました。ふわふわした雪を手に取り、友達と楽しそうに投げ合う子、大きな雪だるまをつくる子、校庭にはにぎやかな歓声が響き渡りました。いよいよ本格的な冬の到来です。

暑い中でスタートした2学期でしたが、雪景色の中で年末を迎えることとなりました。保護者の皆様、地域の皆様のご協力で、子どもたちにとって、実りある学習活動をたくさん実施することができました。いよいよまとめの3学期です。来年も西川小学校の子どもたちの健やかな成長を共に見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。学校だよりNo.15は令和7年1月15日に発行いたします。

